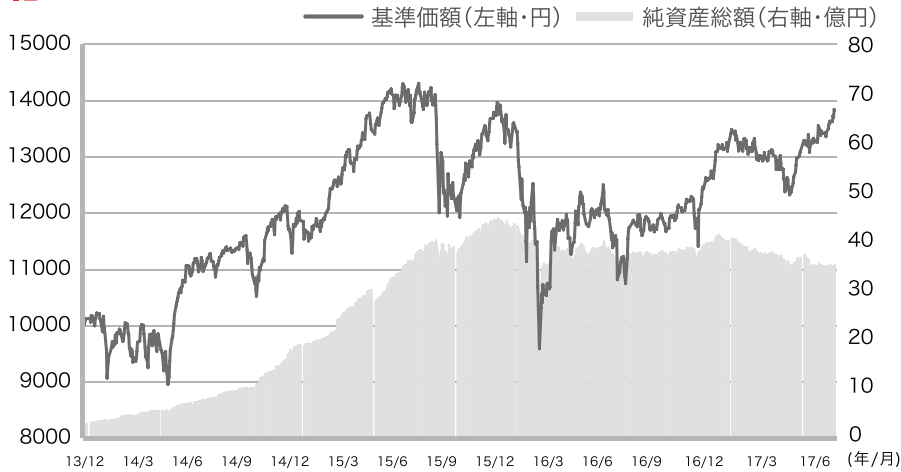




2017年6月30日付

基準価額の推移



分配実績

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)
0円	0円	0円

基準価額の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
4.36%	8.23%	4.80%	24.41%	26.22%	38.54%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

受益者の皆様へ

6月は米国の長期金利が上昇し、欧州や英国においても長期金利に上昇圧力がかかってくる兆しが現れ始めています。こうした中では、長い目で見ると、小型株は上昇しにくく、大型株に優位な相場展開となる可能性があります。一方で、国内では株主総会シーズンが終わりました。不祥事のあった企業などがメディアで取り上げられましたが、当ファンドとしては、独立性に欠く社外取締役の選任事項や、相談役・顧問などを設置している企業に対して、反対票が増加した事例に着目しました。いよいよ低ROE(株主資本利益率)企業がガバナンス改革を経て、収益性を向上させていくという、当ファンドが運用当初から描いていたシナリオが着実に進捗しているとも言えます。

7月は恒例の運用報告会を名古屋、大阪、福岡、東京の順で行います。

詳しいご説明はそちらで行いますので、お時間の許す限り是非ご参加下さい。



チーフポートフォリオマネージャー
糸島 孝俊

ファンドのデータ

基準価額	13,854円
純資産総額	4,424 百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「ザ・2020ビジョンの費用」をご覧ください)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

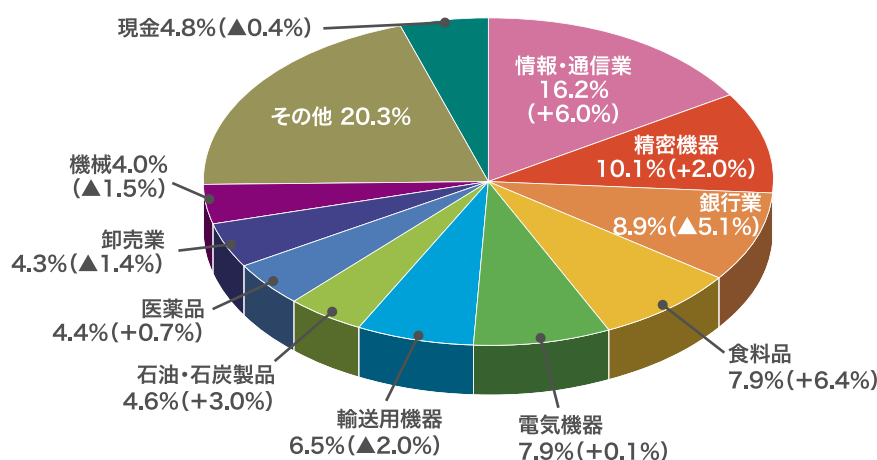
ポートフォリオの構成比 (マザーファンド)

	当月末	前月末比
株式等	95.2%	0.4%
現金等	4.8%	▲0.4%
構成銘柄	52社	0社

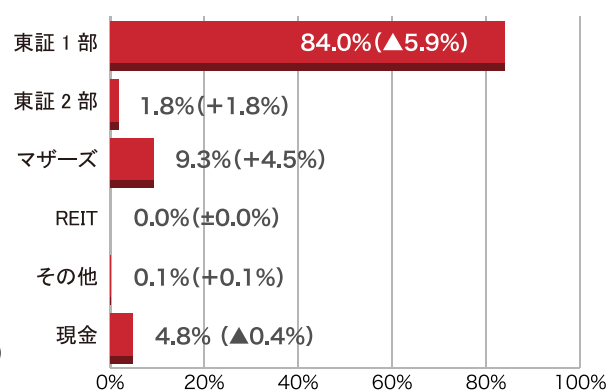
市場概況

月初は、円安の進行や好調な企業業績などを背景に外需株などが中心に買われて株式市場は上昇し、日経平均は20,100円台まで回復しました。その後、中旬にかけては、米国の景気や政治への不透明感、仏総選挙や米FOMCなどの重要イベントを控えて様子見ムードが広がる中、戻り売りが優勢の展開となり、日経平均は19,800円台まで押し戻されました。14日の米FOMC後は年内の米利上げが継続するとの見方から円安が進行し、外需株中心に買い戻され、20日に日経平均は年初来高値(ザラ場20,318円)を更新しました。月末にかけては、重要イベント通過後で材料に乏しい中、原油安を背景に外需株などが売られる局面では日銀によるETF購入などが下支えとなり、日経平均は20,100円から20,200円台で推移しました。月末日は米株安や円高により日経平均は20,000円レベルまで下落しました。

業種別構成比 ()内は前月比



市場別構成比 ()内は前月比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

運用状況

◎主な投資行動

月初より株式等組入比率を前月末の94.8%を維持しつつ、重要イベントを控えた中旬にかけての下落局面で情報・通信業や陸運業などを買い付けて徐々に同比率を99%程度まで引き上げました。14日には米FOMCの結果待ちの中、前月までにウェイトを引き上げていた銀行業を一部売却し、同比率を92%程度まで引き下げてイベント後の波乱に備えました。15日に日経平均が19,800円近辺まで下落した局面以降に石油・石炭、情報・通信業などを買い付けて同比率を96%~98%まで引き上げました。月末にかけて日経平均が20,200円前後で横ばい推移する中、建設業、繊維製品、銀行業、保険業などを一部売却し同比率を6月最低水準となる85%程度まで引き下げて再度下落リスクに備えました。月末日に米株安や円高により日経平均が20,000円レベルまで下落した段階で食料品や情報・通信業など買い付け、6月末の同比率は95.2%としました。

◎ファンド月間リターンとその要因

6月の月間リターンは4.36%の上昇となりました。主な要因は前月までに組み入れ比率を引き上げていた銀行業、電気機器、卸売業が上昇したことなどによるものです。当ファンドは絶対リターンを重視しており、ベンチマークは設けていません。参考として、TOPIXは2.78%上昇、日経平均は1.95%上昇となりました。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

組入上位5銘柄の紹介

(2017年5月31日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
トヨタ自動車		新車販売台数で世界トップ(2016年)。約4割を日本で生産。1937年の設立以来、企業理念である「豊田綱領」を受け継ぐ。トヨタ生産方式は、「自動化」(問題を顕在化・見える化)と「ジャスト・イン・タイム」(生産性を向上)の2つの考え方を柱とする。
輸送用機器	6.8%	
三菱商事		地球規模の視点で、事業(非金融)と投資(金融)を組み合わせるとい世界でも稀な事業モデル。三菱三綱領をベースに、長期持続的成長を意識した経営を志向。引き続き世界経済の成長を享受して、成長を続ける。
卸売業	5.8%	
三菱UFJフィナンシャル・グループ		国内最大の金融グループ。三菱東京フィナンシャル・グループとUFJグループの経営統合により誕生。中長期で、世界に選ばれる信頼のグローバル金融グループを目指す。共有する価値観は「信頼・信用」、「プロフェッショナリズムとチームワーク」、「成長と挑戦」。
銀行業	5.2%	
クボテック		液晶・有機EL検査装置のカスタム品メーカー。成長が見込める蓄電事業に注力。同社が取り組むフライホイール蓄電システムは、電力で円盤形のフライホイール(高速回転体)を回転させ、電気エネルギーを運動エネルギーに変換して貯蔵。短い時間での充放電に適する。
精密機器	5.1%	
三菱重工業		世界中の社会的課題をものづくりで解決することが使命。「エネルギー・環境」、「防衛・宇宙」、「交通・輸送」、「機械・設備システム」の4つのドメインを持つ。事業規模の拡大、資本効率および純利益水準の向上を目指す。
機械	4.8%	

- 組入上位5銘柄については、開示基準日その他の情報と異なります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

「国策に売りなし」という相場格言は、国の政策に関連した業種や銘柄は値上がりしやすいという意味ですが、6月9日に投資銘柄の発掘チャンスになりうる「国策」が二つ発表されました。今回はその一つ「未来投資戦略2017-Society5.0の実現に向けた改革-(以下、同戦略)」から、当ファンドにおける注目領域を紹介します。

そもそも同戦略の背景には、我が国の団塊世代が75歳を迎える「2025年問題」をこのまま迎えると、医療・介護の負担が過度に重くなるため国の活力が失われるという危機感があります。厚労省によると2025年には、65歳以上が総人口の30.0%(2016年27.3%)に達し、そのうち約5人に1人の割合で認知症患者になると言われています。

こうした近未来に対し、同戦略では、ビッグデータ・AIなど技術革新を最大限活用した「新しい健康・医療・介護システム」の確立をさせることで、健康寿命を更に延伸し、世界に先駆けて生涯現役社会の実現を目指しています。

注目領域はいくつもありますが、AIなどの新技術を健康・医療・介護に活用した事業や、働き方改革にも関連して医療・介護現場の生産性向上をサポートする事業には特に注目しています。

上場企業が既に事業化を目指している事例として、医師の診療に対するAIを用いた的確な支援による質の飛躍的向上を目的に、AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)の公募事業として開発された精神疾患などの客観評価デバイスがあります。

また認知症領域においては、IoTの仕組みを使った認知症高齢者の見守りサービスや、サイバニクス技術やロボット技術を用いた医療機器と薬剤との併用療法などがあります。健康・医療・介護データの一体的な利活用については、実現すれば非常に大きなインパクトになり得るので関連する企業群などの動向を特に注視したいと思います。



シニアアナリスト兼ポートフォリオマネージャー 鎌田 聡

コモンズPOINTからのお知らせ

◎「丸の内キッズジャンボリー2017」にて視覚障害者柔道連盟がブースを出展します！

コモンズPOINTの応援先である視覚障害者柔道連盟が、8月15日～17日に東京国際フォーラムで開催される『丸の内キッズジャンボリー2017』にブース出展することが決定！受賞当時より、連盟では POINTによる寄付金を視覚障害者柔道の次世代育成、知ってもらうための柔道教室に使用されたいと考えてくださっており、同イベントにていよいよ実現できることになりました！出展は17日(木)の予定。コモンズ投信のHPでも出展内容を近々お知らせいたしますので、ぜひ、ご注目ください。

<http://www.tif-kids.jp/2017/>



◎第10回記念全国視覚障害者学生柔道大会を応援に行こう！

日時：2017年8月20日(日)10時試合開始。 場所：静岡県浜松市武道館。入場料無料。

年に一度の学生大会、会場での応援が可能な方は東京パラリンピック出場を目指す選手たちの応援をお願いいたします。

コモンズPOINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎「ザ・2020ビジョン」スペシャルコンテンツのお知らせ

「ザ・2020ビジョン」をより知っていただくためのスペシャルコンテンツが、コモンズ投信のWEBサイトに登場しました！チーフポートフォリオマネージャー糸島や、シニアアナリスト鎌田のインタビューや、ザ・2020ビジョンの着眼点などをその時々話題からお伝えるコラム「未来予想図」など魅力的なコンテンツを取り揃えました。是非、ご覧下さい！

<http://www.common30.jp/20articles/>



◎Pick up!セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信WEBサイトの「セミナー情報」をご覧ください。 <http://www.common30.jp/seminar/>

【四半期恒例!「ザ・2020ビジョン」ファンド説明&運用報告会開催】

セミナー名	日付	時間	場所
ザ・2020ビジョン ファンド説明&運用報告会	7月14日(金)	19:00～20:45	愛知県名古屋(ウインクあいち)
	7月15日(土)	14:00～16:00	大阪府大阪市(AP大阪淀屋橋)
	7月21日(金)	19:00～20:50	福岡県中央区(アクロス福岡)
	7月22日(土)	14:00～16:00	東京都中央区(FinGate)

◎糸島孝俊メディア出演情報

今後の出演情報は、弊社WEBサイトのお知らせ欄やコモンズ投信のFacebookにてお知らせして参ります。ぜひご注目下さい。

メディア	日付	時間	備考
BSジャパン「日経プラス10」	7月7日(金)	22:00～23:00	22:50 頃インザマーケットのコーナーに生出演
TV東京「モーニングサテライト」	7月19日(水)	5:45～7:05	5:58 頃「今日の株式見通し」に生出演

販売会社一覧

販売会社名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券(株) 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
(株)SBI証券 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券(株) 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
(株)静岡銀行 登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券(株) 金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		
宇都宮証券 金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第32号	○				

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の 支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	<p>■コールセンター (受付時間/平日 午前9時~午後5時)</p> <p>03-3221-8730</p>	<p>■ウェブサイト</p> <p>http://www.common30.jp/</p>
	<p>◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。</p>	
<p>金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会</p> <p>コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階</p>		